

数学演習第二 (演習第2回)

線形：直線・平面の方程式と外積

2017年 10月 11日 実施

1 [内積, 外積] (線形 p.4, p.8)

- 空間ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{bmatrix}$ と $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{bmatrix}$ の外積 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ は $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{bmatrix} a_2b_3 - a_3b_2 \\ a_3b_1 - a_1b_3 \\ a_1b_2 - a_2b_1 \end{bmatrix}$ で定義される.

- $\mathbf{u} = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}$, $\mathbf{v} = \begin{bmatrix} -1 \\ 1 \\ 4 \end{bmatrix}$, $\mathbf{w} = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{bmatrix}$ に対して, $\mathbf{u} \times \mathbf{v}$, $\mathbf{v} \times \mathbf{u}$, $(\mathbf{u} \times \mathbf{v}) \times \mathbf{w}$, $\mathbf{u} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{w})$ を計算せよ.
- 空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ に対して, \mathbf{b} を $\mathbf{b} = \mathbf{b}_1 + \mathbf{b}_2$ ($\mathbf{b}_1 = t\mathbf{a}$, $\mathbf{b}_2 \cdot \mathbf{a} = 0$) の形に分解せよ. (このとき, \mathbf{b}_1 を \mathbf{b} の \mathbf{a} 方向の直線への正射影 (あるいは \mathbf{a} への正射影) と呼び, \mathbf{b}_2 を \mathbf{b} の \mathbf{a} と直交する平面への正射影と呼ぶ.) 更に, $\|\mathbf{b}_1\|$ と $\|\mathbf{b}_2\|$ を $\|\mathbf{a}\|$, $\|\mathbf{b}\|$, $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$, $\|\mathbf{a} \times \mathbf{b}\|$ を用いて表せ ([2]の説明も見よ).
- (1) の \mathbf{u}, \mathbf{v} に対して, $\mathbf{u} \cdot \mathbf{v}$, $\|\mathbf{u}\|$, $\|\mathbf{v}\|$ および \mathbf{u}, \mathbf{v} のなす角を求めよ. また, \mathbf{v} の \mathbf{u} への正射影を計算せよ.
- 空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を3列に並べてできる行列式を $\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]$ と表すとき, これを第3列に関して余因子展開して $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c} = \det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]$ を示せ. 更に, この関係式を用いて, 次を示せ: ① $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{a} = (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{b} = 0$, ② \mathbf{a}, \mathbf{b} が1次独立ならば $\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{a} \times \mathbf{b}] > 0$ (すなわち $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{a} \times \mathbf{b}$ が右手系).

2 [面積, 体積] (線形 p.6, p.8, pp.85-86)

- 平面ベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} に対して,
 \mathbf{a}, \mathbf{b} の作る平行四辺形の面積 $S = |\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b}]|$.
- 空間ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ に対して,
 \mathbf{a}, \mathbf{b} の作る平行四辺形の面積 $S = \|\mathbf{a} \times \mathbf{b}\| (= \sqrt{\|\mathbf{a}\|^2\|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})^2})$,
 $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ の作る平行六面体の体積 $V = |\det[\mathbf{a} \ \mathbf{b} \ \mathbf{c}]| (= |(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c}| = |\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})|)$.

- P(1, -2), Q(-1, 2), R(2, 3) のとき, $\triangle PQR$ の面積を求めよ.
- P(-1, 2, 1), Q(1, 0, -5), R(-3, 1, 2), S(2, 2, -1) のとき, $\triangle PQR$ の面積, および四面体 (三角錐) PQRS の体積を求めよ.

3 [空間内の直線と平面] (線形 pp.10-13)

- ① 点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ を通り, $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c) \neq \mathbf{0}$ を方向ベクトルとする直線は これを成分表示し, t を消去することにより, 直線の方程式 $\frac{x-x_0}{a} = \frac{y-y_0}{b} = \frac{z-z_0}{c}$ を得る. (この表現は $abc \neq 0$ のとき意味を持つ. 例えば $a=0, bc \neq 0$ なら, $x=x_0, \frac{y-y_0}{b} = \frac{z-z_0}{c}$ となる.)
 - ② 点 $\mathbf{x}_0 = {}^t(x_0, y_0, z_0)$ を通り, ベクトル \mathbf{b}, \mathbf{c} (1次独立) で '張られる' 平面は $\mathbf{x} = \mathbf{x}_0 + s\mathbf{b} + t\mathbf{c}$ (s, t は媒介変数) と表される (平面のベクトル方程式). これと $\mathbf{a} := \mathbf{b} \times \mathbf{c}$ との内積をとれば, s, t が消去され, $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{x} - \mathbf{x}_0) = 0$. このとき, $\mathbf{a} = {}^t(a, b, c)$ は平面の法線ベクトルであり, 平面の方程式 $a(x-x_0) + b(y-y_0) + c(z-z_0) = 0$ が得られる. (通常は $ax + by + cz + d = 0$ あるいは $ax + by + cz = d'$ の形に整理する.)
- ① 点 \mathbf{x}_1 と①の直線の距離 (垂線の長さ) は $\frac{\|\mathbf{a} \times (\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_0)\|}{\|\mathbf{a}\|}$ で与えられることを示せ (ヒント: ①(2) を利用).
 ② 点 $\mathbf{x}_1 = {}^t(x_1, y_1, z_1)$ と②の平面 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{x} - \mathbf{x}_0) = 0$ との距離 (垂線の長さ) は $\frac{|\mathbf{a} \cdot (\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_0)|}{\|\mathbf{a}\|}$ (平面が $ax + by + cz + d = 0$ と表されるなら $\frac{|ax_1 + by_1 + cz_1 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$) で与えられることを示せ.
- P(1, 1, 0), Q(2, -2, 3), R(3, -1, 1), S(-1, 3, 4) とする. ① 直線 PQ (2点 P, Q を通る直線) の方程式を求めよ. ② 平面 PQR (3点 P, Q, R を通る平面) の方程式を求めよ. (まず法線ベクトル $\overrightarrow{PQ} \times \overrightarrow{PR}$ を求めよ.) また, 点 S とこの平面の距離を求めよ. ③ 点 P を通る平面 PQR の法線の方程式を求めよ. また, 点 S とこの直線の距離 (= 点 S からこの直線へ下ろした垂線の長さ) を求めよ.
 - 2平面 $x + y - 3z = 1$, $2x + y + z = -1$ の交線の方程式を求めよ. また, 2平面のなす角を求めよ. (交線の方向ベクトルは2平面の法線ベクトルと直交することに注意. また, 交線が通る点としては例えば xy 平面との交点を考えるとよい. あるいは, 交線上の点を連立1次方程式の解の集合と考えてもよい.)
 - 直線 $l: \frac{x-1}{5} = \frac{y+1}{3} = \frac{z-5}{-4}$ と平面 $P: 5x - 4y - 3z = 19$ に対して, ① 直線 l と平面 P の交点 \mathbf{x}_0 を求めよ. ② 直線 l を平面 P 上に正射影して得られる直線 l' (\mathbf{x}_0 を通り, l の方向ベクトルの平面 P への正射影を方向ベクトルとする直線) の方程式を求めよ. ③ 2直線 l, l' のなす角 (= 直線 l と平面 P のなす角) を求めよ.